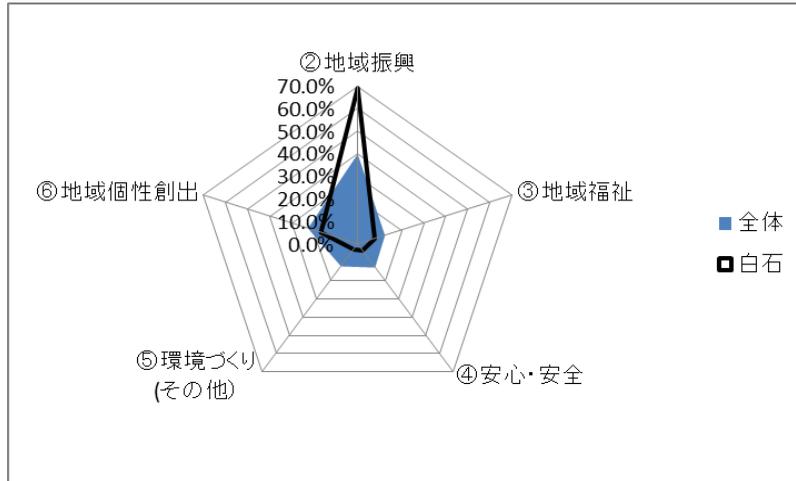


## 白石地区地域づくり協議会 地域づくり交付金事業概要(平成30年度)

### ■地域の情報

地域人口	10,486人	自治会数	40
世帯数	4,596世帯	自治会加入率	87.8%

※数値は、平成31年4月1日のもの



### ■決算状況

交付金配分枠	8,563,000 円
交付金決算額	8,547,111 円
その他収入	113,261 円
交付金決算額／配分額	99.8%

### 各分野の決算

①協議会運営	5,396,804 円
②地域振興	2,256,690 円
③地域福祉	252,150 円
④安心・安全	114,288 円
⑤環境づくり(土木工事)	0 円
⑤環境づくり(その他)	94,963 円
⑥地域個性創出	545,477 円
決算総額	8,660,372 円

### ■地域づくりの活動方針(テーマ)

みんなでつくる住みよいまち・白石

### ■総括

交付金の活用によって、地域課題の解決に向けた住民意識の高揚が図れ、新たに地域づくりに参加される方が増えるなど、地域づくりの協働態勢が整いつつある。  
 今後についても、第2次地域づくり計画に基づいて、地域課題を解決するための手段としての事業を企画し(P)、地域住民が主体となって活動し(D)、事業結果(効果)を検証し(S)、改善する仕組みを構築する(A)ために、地区住民同士が自由に話し合える場づくりに重点的に取り組む。

① 協議会運営	事務員、事務局長人件費、事務費
② 地域振興	地域づくり活動参加促進、広報活動、「やまぐちえき」応援イベント、白石フェスティバル開催支援事業、町内親睦大運動会開催支援事業、町内会親睦活動支援事業、ふるさとまつり参加促進事業
③ 地域福祉	人権啓発活動推進、ノルディックウォーキング講習会、チャレンジ健康づくり、健康食のおススメ、グラウンドゴルフ大会開催、むかし遊び
④ 安心・安全	危険防止看板設置、反射鏡設置、自主防災組織モデル事業、夏休み防災訓練キャンプ、安全パトロール事業
⑤ 環境づくり	五十鈴川を守る会(河川清掃)
⑥ 地域個性創出	お宝写真展開催事業、明治維新150年記念事業

■重点的に取り組んだ事業

事業名	チャレンジ健康づくり事業	決算額	93,783円
①	目的	日常的に運動に親しむ地区住民を増加させ、心身とも健康な地域づくりを推進する。	
	実施内容	参加者に対して活動量計を貸出し、運動に関するプログラムを月1回のペースで提供。同時に活動量計のチェックを実施し、個人にあった健康的な身体活動量を体感してもらう事業を展開する。	
	実施時期	平成30年9月～平成31年2月	
	参加人数	38人	
	成果	社会体育部会と地域福祉部会との合同で事業運営を試み、安定した事業展開が図られた。	
	評価	活動終了時のアンケートでは、ほぼ全員が本事業の内容や取り組みについて満足していることから、来期も内容は今年度と同様とする。	
	今後に向けて	本活動の認知度を上げて参加者を増やしていく為の活動や告知回数を増やしていく。具体的には、①地区運動会(5月開催)で本活動を紹介する時間(昼休憩等)をとり、その中で模擬体験を行ってもらう。併せて場内アナウンスやちらし等で告知する。②本活動開始(9月)前にイベント(ウォーキング講座、ストレッチ講座等)を開催し、その中で本活動を予告・紹介し、参加を呼び掛けていく。③従来、実質の活動開始が2回目から、講座開始も3回目からとなり間延び感が否めない為、初回からの活動開始、2回目からの講座開始として、やる気感を阻害せず、最後まで参加してもらえるように内容を変更する。	
事業名	明治維新150周年記念事業	決算額	195,730円
②	目的	明治維新に係る歴史に対する理解と関心を高め、もって郷土愛を育み、地域の連帯感や絆を深める。	
	実施内容	講演会、広報誌およびHPにコラム掲載、幕末維新史跡マップの作成。	
	実施時期	平成30年4月～平成31年3月	
	参加人数	263人(延べ人数)	
	成果	講演会・広報誌へのコラム掲載、幕末維新史跡マップ作成により幕末・明治維新の山口市で行動・活躍した人物や史跡を詳しく周知することができた。	
	評価	講演会・広報誌へのコラム掲載は好評であった。とりわけ、幕末維新史跡マップの作成を行い、全戸配布することにより、本事業の足跡を残すことができた。	
	今後に向けて	来年度も、講演会開催やコラム掲載については引き続き実施し、幕末維新史跡マップを活用した維新探訪ウォーキングも実施する。また、広報誌掲載コラム(全58回)を編集し冊子化する予定である。	

事業名	ふるさとまつり参加促進事業	決算額	195,730円
目的	子どもからお年寄りまで家族ぐるみで地域の祭に参加していただき、地域住民同士の繋がりを深める。		
実施内容	<p>【ほたるまつり】 実行委員会メンバー他有志で赤煉瓦前広場において、無料休憩所の設営・運営および交通警備を行った。</p> <p>【祇園祭】 御神輿の参加者を対象にサラシの巻き方教室、終了後には直会を開催した。</p> <p>【山口セタちょうちんまつり】 一の坂川沿いにちょうちんツリー45本にちょうちん860張の飾りつけ・点灯を行った。また、ほたる広場周辺のちょうちんツリー8本には、保護者や子供たち184名がそれぞれの願いを短冊に書いて飾り付けた。</p>		
実施時期	平成30年6月2日、7月20・27日、8月6・7日		
参加人数	544人		
③ 成果	<p>【ほたるまつり】 参加者36人。白石カフェは早い時間から常に満席状態であった。</p> <p>【祇園祭】 参加者129人(御神輿担ぎ手105人、直会93人)</p> <p>【山口セタちょうちんまつり】 参加者269人(ちょうちんツリー69人、願事短冊184人)</p>		
評価	昨年と比較して参加者が85人増加した。(願事短冊の飾りつけは61名減)		
今後に向けて	<p>前年度と同様に町内会(地縁団体)からの参加者が少ないことから、町内会連合会を通して単位町内会長へ参加を町内会総会において早期に積極的に要請していく。</p> <p>【ほたる祭り】 定期利用団体の演奏、演舞等の検討を要する。</p> <p>【祇園祭り】 子供神輿、裸坊の警備と練歩きの実施を検討する。</p> <p>【ちょうちん祭り】 昨年度に比べ「願事短冊の飾付」の参加者が少なかったため、子ども会会長を通じて積極的に参加を要請する。ミニちょうちんツリー設置点灯の作業が初めての人には補助員1名配置する。参加者募集は早めに行う。(5月頃)</p>		